

令和4年度

大和市環境学習支援事業 報告書

令和4年12月

大和市

目次

第1章 「かんきょうノート」の概要

1. 実施概要	1
1) 「かんきょうノート」のこれまでの取組みの経過.....	1
2) 令和4年度の回収状況	2
3) 「かんきょうノート」の取組み項目について.....	2
4) 排出量の計算方法.....	3

第2章 「かんきょうノート」の集計結果

1. 取組結果	4
1) 中学校の取組み	4
2) 二酸化炭素削減量.....	11
2. 今後の課題	11
1) かんきょうノートについて.....	11

第3章 資料編

1. 各中学校の結果	12
------------------	----

第1章 「かんきょうノート」の概要

1. 実施概要

1) 「かんきょうノート」のこれまでの取組みの経過

かんきょうノートは、「地球温暖化防止」と「環境にやさしいライフスタイル」について市民へ普及させることを目的に、大和市が平成14年度に開始したものです。その後、環境教育の取組みに発展させ、すべての市立中学校において取り組まれてきました。さらに、平成26年度からは、希望する小学校も対象に加え、現在まで取組みが続いています。

令和4年度までの実施経過は、表1のとおりです。令和4年度は中学校で実施し、取り組んだ人数は、4,104人となりました。

例年、参加希望の小学校も対象として実施してきましたが、令和4年度は令和4年4月に発表した「大和市気候非常事態宣言」のロゴマークの募集を代わりに行ったため、本報告書の集計の対象外となります。

なお、ロゴマークは14校から710作品の応募がありました。優秀作品については、令和5年2月頃に発表予定です。

表1 かんきょうノートの実施経過(直近5年)

	配布先(校)	配布数(人)	回収数(回収率)
平成30年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校5校	中学校5,305 小学校549	中学校4,057(76.5%) 小学校483(88.0%) 合計4,540
令和元年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校7校	中学校5,338 小学校690	中学校4,154(77.8%) 小学校585(84.8%) 合計4,739
令和2年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校6校	中学校5,359 小学校513	中学校2,933(54.7%) 小学校484(94.3%) 合計3,417
令和3年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校3校	中学校5,571 小学校374	中学校4,338(77.9%) 小学校332(88.8%) 合計4,670
令和4年度	市立全中学校9校 市内全小学校20校(※1)	中学校5,600 小学校1,890	中学校4,104(73.3%) 小学校応募総数710作品(※2)

※1 市立全小学校19校+私立聖セシリア小学校の計20校

※2 令和4年度小学校は「大和市気候非常事態宣言」のロゴマークの募集数

2) 令和4年度の回収状況

中学校の回収状況は、表2のとおりです。回収数は、市立全中学校9校、4,104人でした。全体の回収率は、73.3%でした。

表2 中学校の生徒数と回収数、回収率

	中学校名	生徒数	回収数	回収率(%)
	全体	5,600	4,104	73.3%
1	大和中学校	826	631	76.4%
2	光丘中学校	914	792	86.7%
3	渋谷中学校	301	222	73.8%
4	つきみ野中学校	945	763	80.7%
5	鶴間中学校	448	371	82.8%
6	引地台中学校	680	139	20.4%
7	上和田中学校	366	268	73.2%
8	南林間中学校	779	663	85.1%
9	下福田中学校	341	255	74.8%

生徒数は、令和4年5月1日現在の在籍数

3) 「かんきょうノート」の取組み項目について

令和4年度は13の項目にチャレンジして貰いました。

項目の内訳は、「A. 自分自身で取り組むこと」のA1~A5の5項目と、「B. 家族や周囲に呼びかけること」のB1~B8の8項目です。

	項目番号	分野	項目
A 取 自 分 組 み 自 身 こ と	A1	節電	使っていない照明や見ていないテレビなどは消す。
	A2	節電	冷蔵庫の無駄な開閉をしない。開ける時間を短くする。
	A3	節水	水やお湯を使う時は、蛇口をこまめに止める。
	A4	暮らし方	毎日の食事は残さず食べる。
	A5	暮らし方	使い捨てのものは使用しない。※マスクなどの衛生品は含まない。
B 呼 び か け る 周 圍 こ と	B1	節電	家族で節電に取り組む。
	B2	節電	冷房や暖房の適正な温度調整、フィルターなどの清掃を行う。
	B3	節電	エアコンの運転を減らす工夫をする。 夏：日差しを防ぐ「すだれ」や「緑のカーテン」を利用するなど 冬：冷気を防ぐ厚手のカーテンなど
	B4	節電	照明にLED電球を利用する。
	B5	節水	家族で節水に取り組む。
	B6	暮らし方	マイバッグを利用する。
	B7	暮らし方	ごみは決められたとおりに分けて捨てる。
	B8	暮らし方	自転車や公共交通を利用する。(マイカーの使用を控える)

4) 排出量の計算方法

取組んだ13項目それぞれについて、二酸化炭素の削減量の算定を行いました。

二酸化炭素の削減量は、「かんきょうノート(中学生版)」に記入された取組み状況に応じて、100%、50%、0%のどれかと1年間実施した場合の二酸化炭素削減量を掛け合わせて算出しました。

「取組み前の削減量」については、取組状況欄の「今までをチェック」の列に記入した、「よく出来た」、「出来た」、「出来ていない」をそれぞれ100%、50%、0%として算出しました。

「取組み後の削減量」については、チャレンジ結果(出来た日の日数)に応じて、「6~7日」、「3~5日」、「0~2日」と分け、それぞれ100%、50%、0%として算出しました。

ただし、「照明に LED 電球を利用する」(取組み項目 B4)については、日数の記入が出来ないため、「○の数」の列に記入した「よく出来た」、「出来た」、「出来ていない」をそれぞれ100%、50%、0%として算出しました。

上記の計算で求めた「取組み後の削減量」の総計を、取組んだ生徒の人数(4,104人)で割り、「1人当たりの取組み後の削減量」を算出しました。

その上で、「1人当たりの取組み後の削減量」を「削減目標値(1,840kg/(年・人))」で割り、削減の効果を「削減比率」(※1)として計算しました。

※1 削減比率(%)=(「1人当たりの取組み後の二酸化炭素削減量」/1840)×100

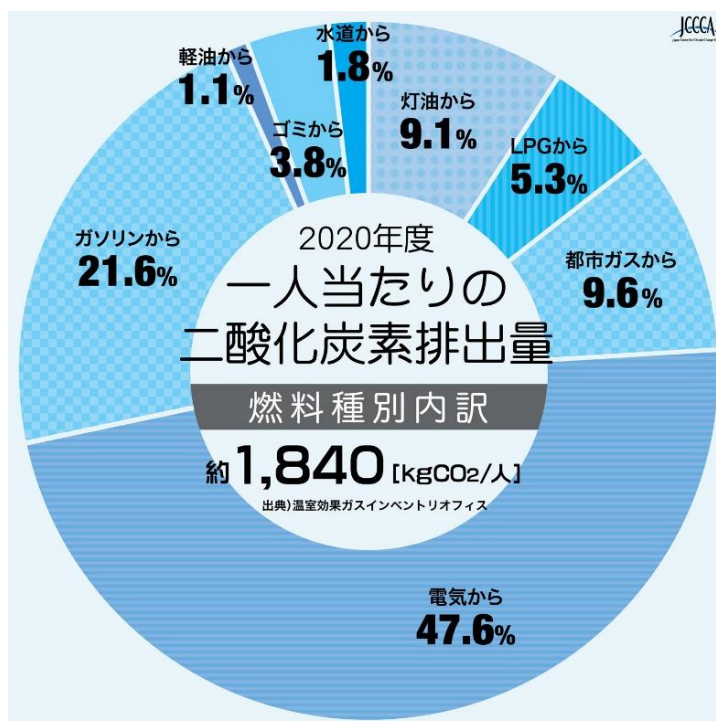


図1 一人当たりの二酸化炭素排出量

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

※図中の kgCO₂は「キログラム-二酸化炭素(CO₂)換算」という単位です。

本報告書では二酸化炭素のみを扱うため、代わりにkgもしくはトン(=1000kg)を使います。

※1年間に於ける二酸化炭素の排出量のため、1840(kg/(年・人))と言えます。

第2章「かんきょうノート」の集計結果

1. 取組結果

(1) 取組みの概要

令和4年度の中学校の取組みについては、表3のとおりです。

表3 かんきょうノート取組み前後の二酸化炭素削減量、改善率まとめ

中学校名	回収(数)	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))		改善率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後	
合計	4,104	2,453,957	2,798,515	598	682	14.0%
大和	631	373,793	409,099	592	648	9.4%
光丘	792	480,444	555,932	607	702	15.7%
渋谷	222	128,989	142,379	581	641	10.4%
つきみ野	763	452,618	510,246	593	669	12.7%
鶴間	371	214,261	253,075	578	682	18.1%
引地台	139	85,170	101,079	613	727	18.7%
上和田	268	155,131	185,016	579	690	19.3%
南林間	663	418,822	472,450	632	713	12.8%
下福田	255	144,729	169,239	568	664	16.9%

※「改善率」とは、取組み後に全体の二酸化炭素削減量がどれだけ改善されたかの比率を表します。

改善率(%) = { (取組み後の二酸化炭素削減量 - 取組み前の二酸化炭素削減量) / 取組み前の二酸化炭素削減量 } × 100

各学年の取組み前後の二酸化炭素削減量等は、表4のとおりです。また、一人当たりどの程度の二酸化炭素の排出量を削減できたかを、削減目標値(1840 kg/(年・人))を基準として、その割合を計算しています。

表4 各学年の取組み前後の二酸化炭素削減量、改善率、削減比率

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	4,104	2,453,957	2,798,515	344,558	14.0%	598	682	84	37.1%
1年	1,311	758,178	867,050	108,872	14.4%	578	661	83	35.9%
2年	1,402	845,093	961,052	115,959	13.7%	603	685	82	37.2%
3年	1,391	850,686	970,413	119,727	14.1%	612	697	85	37.9%
直径50cmの木に換算		1学年：2,588本		2学年：2,869本		3学年：2,897本		合計：8,354本	

2020年度の一人当たりの二酸化炭素排出量：1,840kg/(年・人)

※注：直径50cmの木が一年間に吸収する二酸化炭素量を335kg/(年・本)として計算。

(例：取組み後の全体の二酸化炭素削減量2,798,515 kg/年 ÷ 335 kg/(年・本) ≈ 8,354本)

※数値は、四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

この取組みにおける中学校の全体の二酸化炭素削減量の合計は約2,799トン(1トン=1000kg)となります。これを直径50cmの木が1年間に吸収する量に換算すると、約8,354本分に相当します。

(2) 各中学校の取組み

① 大和中学校

大和中学校の取組みは、表5-1のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約409トンでした。50cmの木が1年間に吸収する量に換算すると約1,221本分に相当します。

表5-1 大和中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				1人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	631	373,793	409,099	35,306	9.4%	592	648	56	35.2%
1年	197	115,750	128,954	13,204	11.4%	588	655	67	35.6%
2年	221	133,037	143,426	10,389	7.8%	602	649	47	35.3%
3年	213	125,006	136,719	11,713	9.4%	587	642	55	34.9%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:385本		2学年:428本		3学年:408本		合計:1,221本	

② 光丘中学校

光丘中学校の取組みは、表5-2のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約556トンでした。50cmの木が1年間に吸収する量に換算すると約1,659本分に相当します。

表5-2 光丘中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	792	480,444	555,932	75,488	15.7%	607	702	95	38.2%
1年	242	141,001	162,819	21,818	15.5%	583	673	90	36.6%
2年	289	174,622	201,707	27,085	15.5%	604	698	94	37.9%
3年	261	164,821	191,406	26,585	16.1%	631	733	102	39.8%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:486本		2学年:602本		3学年:571本		合計:1,659本	

③ 渋谷中学校

渋谷中学校の取組みは、表5-3のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約142トンでした。50cmの木が1年間に吸収する量に換算すると約425本分に相当します。

表5-3 渋谷中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	222	128,989	142,379	13,390	10.4%	581	641	60	34.8%
1年	100	59,890	70,281	10,391	17.4%	599	703	104	38.2%
2年	87	47,537	52,161	4,624	9.7%	546	600	54	32.6%
3年	35	21,562	19,937	-1,625	-7.5%	616	570	-46	31.0%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:210本		2学年:156本		3学年:60本		合計:425本	

④ つきみ野中学校

つきみ野中学校の取組みは、表 5-4のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 510 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 1,523 本分に相当します。

表 5-4 つきみ野中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	763	452,618	510,246	57,628	12.7%	593	669	76	36.4%
1年	267	157,850	177,212	19,362	12.3%	591	664	73	36.1%
2年	257	154,430	176,044	21,614	14.0%	601	685	84	37.2%
3年	239	140,338	156,990	16,652	11.9%	587	657	70	35.7%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:529本		2学年:526本		3学年:469本		合計:1,523本	

⑤ 鶴間中学校

鶴間中学校の取組みは、表 5-5のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 253 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 755 本分に相当します。

表 5-5 鶴間中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	371	214,261	253,075	38,814	18.1%	578	682	104	37.1%
1年	133	70,671	83,771	13,100	18.5%	531	630	99	34.2%
2年	123	72,279	84,309	12,030	16.6%	588	685	97	37.2%
3年	115	71,311	84,995	13,684	19.2%	620	739	119	40.2%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:250本		2学年:252本		3学年:254本		合計:755本	

⑥ 引地台中学校

引地台中学校の取組みは、表 5-6のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 101 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 302 本分に相当します。

表 5-6 引地台中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と 後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	139	85,170	101,079	15,909	18.7%	613	727	114	39.5%
1年	13	7,043	9,518	2,475	35.1%	542	732	190	39.8%
2年	5	3,821	4,333	512	13.4%	764	867	103	47.1%
3年	121	74,306	87,228	12,922	17.4%	614	721	107	39.2%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:28本		2学年:13本		3学年:260本		合計:302本	

⑦ 上和田中学校

上和田中学校の取組みは、表 5-7のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 185 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 552 本分に相当します。

表 5-7 上和田中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	268	155,131	185,016	29,885	19.3%	579	690	111	37.5%
1年	90	49,298	61,234	11,936	24.2%	548	680	132	37.0%
2年	99	58,774	70,100	11,326	19.3%	594	708	114	38.5%
3年	79	47,059	53,682	6,623	14.1%	596	680	84	37.0%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:183本		2学年:209本		3学年:160本		合計:552本	

⑧ 南林間中学校

南林間中学校の取組みは、表 5-8のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 472 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 1,410 本分に相当します。

表 5-8 南林間中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	663	418,822	472,450	53,628	12.8%	632	713	81	38.8%
1年	197	118,612	132,330	13,718	11.6%	602	672	70	36.5%
2年	238	151,362	172,779	21,417	14.1%	636	726	90	39.5%
3年	228	148,848	167,341	18,493	12.4%	653	734	81	39.9%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:395本		2学年:516本		3学年:500本		合計:1,410本	

⑨ 下福田中学校

下福田中学校の取組みは、表 5-9のとおりです。取組み後の二酸化炭素削減量は、全体で年間約 169 トンでした。50cm の木が 1 年間に吸収する量に換算すると約 505 本分に相当します。

表 5-9 下福田中学校の二酸化炭素削減の取組みまとめ

学年	人数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)				一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/(年・人))			削減比率 (3頁の※1参照)
		取組み前	取組み後	取組み前と後の差	改善率	取組み前	取組み後	差	
合計	255	144,729	169,239	24,510	16.9%	568	664	96	36.1%
1年	72	38,063	40,931	2,868	7.5%	529	568	39	30.9%
2年	83	49,231	56,193	6,962	14.1%	593	677	84	36.8%
3年	100	57,435	72,115	14,680	25.6%	574	721	147	39.2%
直径50cmの木が吸収する量に換算		1学年:122本		2学年:168本		3学年:215本		合計:505本	

(3) 各項目の取組状況

各項目の取組状況は、表 6 のとおりです。Aは自分自身で取り組む項目、B は家族や周囲に呼びかけて取り組む項目となっています。

網かけは、達成状況(「出来た」と「よく出来た」を合わせた割合)が 80%以上、改善率が 20%以上を示します。

令和 4 年度の平均改善率は16.9%となりました。一方、令和 3 年度の平均改善率は 7.6%でした。

令和 3 年度と比較して、令和 4 年度の改善率が大きく上昇したのは、取組み前に電力需給ひっ迫注意報が発令され、節電意識が高かったことが理由として考えられます。

表 6 項目の取組み前後の達成状況

項目番号	分野	項目	取組み前	取組み後	改善率
A1	節電	使っていない照明や見えていないテレビなどは消す。	89.4%	96.0%	26.4%
A2	節電	冷蔵庫の無駄な開閉をしない。開ける時間を短くする。	91.0%	95.9%	18.0%
A3	節水	水やお湯を使う時は、蛇口をこまめに止める。	83.8%	93.0%	23.6%
A4	暮らし方	毎日の食事は残さず食べる。	88.1%	93.5%	16.2%
A5	暮らし方	使い捨てのものは使用しない。※マスクなどの衛生品は含まない。	82.5%	87.3%	21.5%
B1	節電	家族で節電に取り組む。	83.0%	88.6%	29.5%
B2	節電	冷房や暖房の適正な温度調整、フィルターなどの清掃を行う。	77.9%	73.6%	8.6%
B3	節電	エアコンの運転を減らす工夫をする。 夏：日差しを防ぐ「すだれ」や「緑のカーテン」を利用するなど 冬：冷気を防ぐ厚手のカーテンなど	50.9%	53.5%	22.4%
B4	節電	照明にLED電球を利用する。	76.2%	79.7%	7.4%
B5	節水	家族で節水に取り組む。	83.4%	87.3%	26.0%
B6	暮らし方	マイバッグを利用する。	91.7%	90.1%	-0.2%
B7	暮らし方	ごみは決められたとおりに分けて捨てる。	96.3%	95.3%	5.3%
B8	暮らし方	自転車や公共交通を利用する。(マイカーの使用を控える)	66.3%	70.4%	15.3%

※達成状況は「出来た」と「よく出来た」を合わせた割合のため、達成状況が低下しても、「よく出来た」の割合が大きくなっている場合、改善率は向上する可能性があります。

(4) 生徒の取り組んだ感想や意見

かんきょうノートに取り組んだことによる、気づきや姿勢の変化などの主なものは、次のとおりです。

- ・実際に取り組んで、出来ていることと出来ていないことがよく分かりました。これからは、今まで出来ていることを続け、CO₂排出量を抑えるために、節水・節電など、省エネを心がけるようにしたいです。
- ・こういう風に表にまとめてみると、今自分が出来ていることや出来ていない所がはっきり分かったので、継続していく部分やこれから気を付けていくことが分かって良かったです。これからは毎日続けられるようにしたり、出来ていないことを出来るようにしてみたいです！
- ・今まで、冷蔵庫を開けばなしにしたり、と電気や資源を無駄にしていたことが多かったので、取り組んでみて、「これからはしないようにしよう」と思いました。
- ・今まで家庭でのCO₂削減について、目に見える形で取り組む機会がなく、今回の課題を通じて、家庭内で意識の共通化を行えました。また、本人も集計期間後も、CO₂削減について意識をすることが増え、よい取組が出来たと思います。
- ・いつもよりちょっとでもエコなことをすると、ちょっと良い事をした気分になって良かったので、今後も続けていきたいです！！
- ・毎日、節電、節水など、環境のためになることは難しいかなと思ったけど、少しずつ、コツコツ取り組めば思っていたより簡単に続けられるなと思いました。これからも続けていきたいです。
- ・普段から何気なくやっていた事を少し意識して取り組むだけで地球温暖化阻止に協力できるなんてすごいと思いました。これからも継続したいです。
- ・使い捨ての物を使用しないというのが難しかったので、これから少し意識していきたいと思います。
- ・普段きにしていないことも、表になるとどこを改善したらいいかがよく分かりました。今回、自分が出来なかったところを意識して、これから生活していこうと思います。
- ・日頃、このようなことをあまり考えたことがなかったので、難しいところもありました。これを機に意識して取り組みたいです。
- ・今までの生活と比べて今回の一週間はCO₂の削減する努力をしたので、いつもと比べてエアコンなどのつける時間を意識出来たと思う。なので、これを意識せず出来るようにしていきたい。
- ・普段よりも環境について考えることが増えたなと思います。これからも続けていけると良いなと思います。家族で取り組むのが難しかったので、全員で取り組めるように頑張りたいと思いました。
- ・今回の取り組みで、僕は特に「自転車や公共交通を利用する」を意識して取り組みました。晴れた日は自転車、雨の日は電車と決めて、なるべく自動車を使わないで移動することが出来たと思います。これからもこの取り組みを続けて環境に優しくしていきたいです。
- ・普段、気を遣っていなかった、冷蔵庫の開閉などのエコな事に取り組めて良かったです。夏休み限定ではなく、これからもこの活動を続けたいです。
- ・1週間を通して、特に節電や節水に気を付けることが出来たので良かったと思いました。これからは更に頑張っていきたいと思います。マイカーの使用や冷房等の使用時間も減らしたいです。
- ・節電などを実際にやってみると「こんなに使っていない電気があったんだー」と気付くことが沢山ありました。
- ・こういった取り組みで地球温暖化と関わって地球温暖化は1人1人がちゃんと節水や節電をすれば改善していくことが分かった。なので、これからは未来の地球、人のことを考えて、積極的に取り組んでいこうと思います。
- ・環境ノートを学習して、自分だけでも取り組めることがあるので普段から節約して環境問題に向き合っていこうと思った。また、家族とも協力して、節約できるような取り組みをしていきたいです。
- ・普段の生活の中でも少し工夫すれば、自分たちでも少しずつCO₂を減らせることを知ったので、この活動の後も積極的にCO₂を減らすことをやっていきたいです。

(5) 家族のコメント

生徒と一緒にかんきょうノートに取り組んだことによる、家族の気づきや姿勢の変化などの主なものは、次のとおりです。

- ・節電や節水、フードロスなど一緒に考える切っ掛けになった。これからも意識していきたい。
- ・今年は特に猛暑だった為、エアコン無しでの生活は難しいと思いましたが、設定温度や極力1つの部屋で皆で過ごすなどの節電に取り組みました。今度も1人1人が出来る事を家族で話し合い、取り組んでいきたいと思います。
- ・この「かんきょうノート」を書き始めて、節電やCO₂排出量に興味をもって動けていると思います。
- ・今回の課題で環境について改めて考え直し学ぶことが出来ました。娘に指摘され、これからはもっと環境に配慮しないと、と感じました。
- ・意識して削減するのも大切ですが、削減することを生活の一部にして習慣づけて自然にエコに取り組める仕組み作りが大切だと感じました。
- ・一人一人の日々の行動が、地球全体の環境に繋がっているということが分かる良い切っ掛けとなりました！
- ・親としては恥ずかしい事ですが、子供が取り組むことで改めて『気づき』を与えられ、共に意識を高められるようになっていった気がします。無理して背伸びするよりも一人一人が少しずつ意識を高める事で、社会全体が良い方向に進めば良いと思います。
- ・地球温暖化について、親子で話す切っ掛けになり良かったです。意識して項目に取り組んでいました。出来ていない項目は、家族で今後取り組もうと思っています。
- ・温暖化を防ぐ為にどんな事へ取り組むべきか、チェック表になっていて分かり易く、家族で取り組むことが出来ました。今後も意識して行い、継続していけるよう頑張ってください。
- ・日差しを遮るすだれを取り付けたことで、去年よりは涼しく過ごすことが出来ました。地球温暖化が進んでいるので、エコ活動に取り組んでいこうと思います。
- ・環境問題について、何となく地球が今どうなっているか分かっていても、自身が出来る事を心掛けて生活する機会があまり多くなかったと思います。夏休みの課題を通して意識するきっかけになり、家族でいつもより出来る事に取り組む良い機会になりました。
- ・CO₂を減らす為の具体例が分かりやすく、私もチャレンジしようと思いました。暑さの為、エアコンを減らすのは難しいと思いますが、細目に電気を消すなど、他の行動で節電出来るよう努めたいと思います。
- ・CO₂の削減に関して、家族の会話の話題にもなり、子供から教えて貰うことも多く、私も勉強になりました。
- ・子供が取り組んでいる姿を見て、私自身も「気を付けな」と改めて実感することが出来ました。これからも続けていきたいと思います。
- ・この課題が配られる前から節電に積極的に取り組んでいましたが、今回、節電以外にも環境に優しい取り組みを積極的に家族全員ですることが出来ました。これからも継続していきます。
- ・日常的に意識し取り組んでいた事も、又、意識はしていたもののあまり完全に取り組めていなかった事についても、以前よりも気に掛ける事が多くなり、家族にとっても環境にとってもプラスになったと思います。気に掛ける事を家族でもっと共有していきたいと思えました。
- ・普段から、節電、節水を心掛けているつもりでしたが、改めて意識すると、まだまだ取り組めることはあるな、と感じました。これからも引き続き、節電、節水を心掛けたいです。
- ・LED電球やベランダで緑のカーテンを作るなど出来ることは沢山あると気が付きました。家庭でも家族で協力して環境保全に取り組んでいきたいと思います。
- ・家族皆で、環境について考え直す良い切っ掛けとなりました。一人一人のちょっとした心掛けで出来る事なので、継続したいと思います。

3) 二酸化炭素削減量

小学校・中学校の取組結果合計

平成18年度から令和4年度までの取組状況は、表7のとおりです。令和4年度では、合計4,104人が取り組んだ結果、二酸化炭素の削減量の合計は年間2,799トンでした(1トン=1000kg)。この取組みを直径50cmの木が一年間に吸収する量に換算すると、約8,354本分に相当します。

※平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度はそれぞれ、中学生版の取組内容や算出根拠について見直しを行ったため、平成28年度までの排出量及び削減量の算出方法とは違いがあります。

表7 小学校・中学校の取組み結果

年度	参加者総数(人)			参加者総数				取組み後一人当たり	
				排出量		削減量			
	総数	中学校	小学校	何もしない場合 トン/年	取組み後 トン/年	取組み後 トン/年	木の本数 本	排出量 kg/(年・人)	削減率 %
平成18年度	1,631	1,631	—	2,137	1,555	582	1,736	953	27
平成19年度	1,784	1,784	—	2,337	1,613	724	2,161	904	31
平成20年度	2,560	2,560	—	3,354	2,257	1,097	3,273	881	33
平成21年度	1,798	1,798	—	2,355	1,579	776	2,318	878	33
平成22年度	2,702	2,702	—	3,540	2,215	1,325	3,954	820	37
平成23年度	3,262	3,262	—	4,273	2,689	1,584	4,729	824	37
平成24年度	4,335	4,335	—	5,679	3,520	2,159	6,444	812	38
平成25年度	4,518	4,518	—	5,919	3,615	2,304	6,876	800	39
平成26年度	4,730	4,234	496	6,196	3,961	2,235	6,673	837	36
平成27年度	4,879	4,386	493	6,391	3,939	2,452	7,321	807	38
平成28年度	5,105	4,484	621	6,688	4,125	2,563	7,649	808	38
平成29年度	5,006	4,317	689	10,963	6,412	4,551	13,584	1,281	42
平成30年度	4,540	4,057	483	9,284	6,554	2,730	8,149	1,444	29
令和元年度	4,739	4,154	585	9,715	6,541	3,174	9,475	1,380	33
令和2年度	3,417	2,933	484	6,561	4,076	2,484	7,416	1,193	38
令和3年度	4,670	4,338	332	8,682	5,988	2,693	8,039	1,282	31
令和4年度	4,104	4,104	—	7,551	4,753	2,799	8,354	1,158	37

※何もしない場合の基準値：平成28年度までは1,310kg/(年・人)、平成29年度は平成29年度は2,190kg/(年・人)、平成30年度は2,045kg/(年・人)、令和元年度は2,050kg/(年・人)、令和2年度は1,920kg/(年・人)、令和3年度は1,859kg/(年・人)、令和4年度は1,840kg/(年・人)。

※端数を四捨五入しているため、取組み後の排出量と削減量を足しても、何もしない場合の排出量と異なる場合があります

2. 今回の見直しと今後の課題

○学校へのフィードバックについて

今年度より、「感想・コメント」欄への生徒とご家族の記述内容をまとめ、各学校に返却しています(回答者は特定できない形にしています)。

各校で、環境学習を行う際に、参考になればと考えています。

○回収・集計方法について

現在の紙による回答では、各学校からの回収、市役所での集計、各学校への返却に時間がかかります。市立中学校では生徒一人一人に配布されているモバイル端末から結果を回答できるようにすることも考えられます。

一方、毎日回答用紙に記入することで、結果を意識しやすい面があるとも考えられます。

どのような方法が最善か、今後も引き続き考えていきます。

第3章 資料編

1. 各中学校の結果

各中学校の取組結果のまとめは、図3のとおりです。

令和4年度版

未来の環境は私たちが守る！ 「大和市 かんきょうノート」取組結果 大和中学校

中学校取組結果

大和中学校全体の結果

631人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約409トン削減することになります。これは、約1,221本の木が吸収する量に相当します。

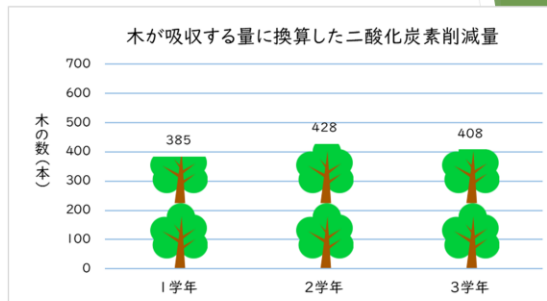
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約129トン、2学年約143トン、3学年約137トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約385本分、2学年約428本分、3学年約408本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

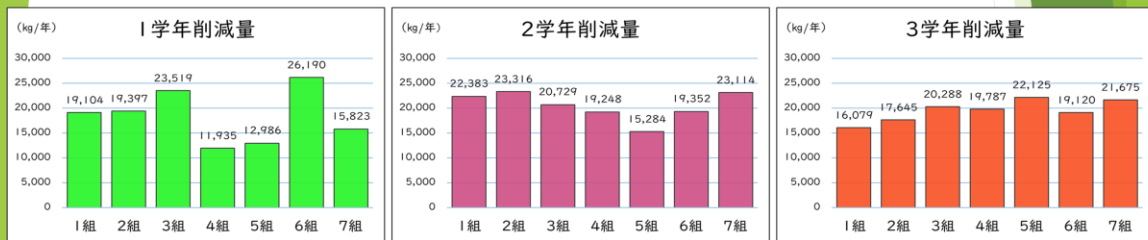
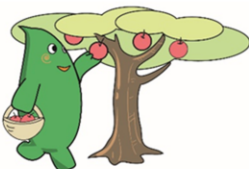


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう！

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう！

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう！

図3-1 大和中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!
「大和市 かんきょうノート」取組結果 光丘中学校

中学校取組結果

光丘中学校全体の結果

792人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約556トン削減することになります。これは、約1,659本の木が吸収する量に相当します。

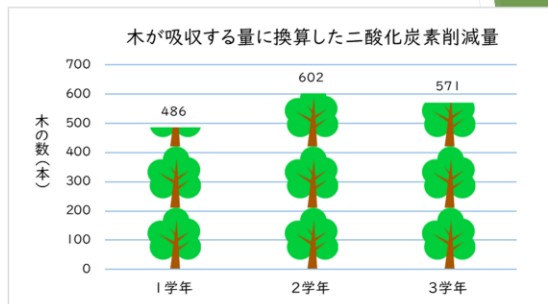
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約163トン、2学年約202トン、3学年約191トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約486本分、2学年約602本分、3学年約571本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

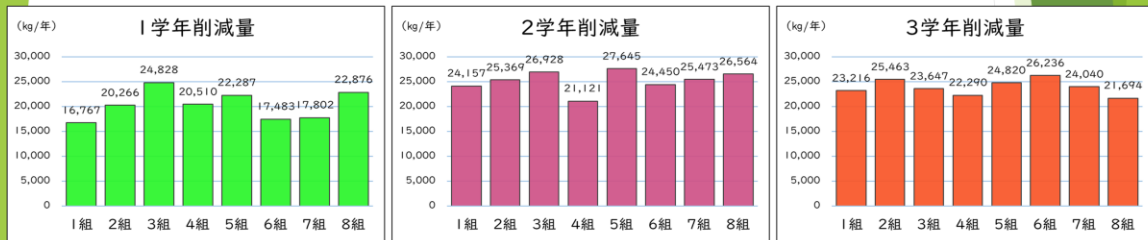
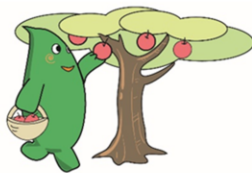


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!
これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-2 光丘中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 渋谷中学校

中学校取組結果

渋谷中学校全体の結果

222人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約142トン削減することになります。これは、約425本の木が吸収する量に相当します。

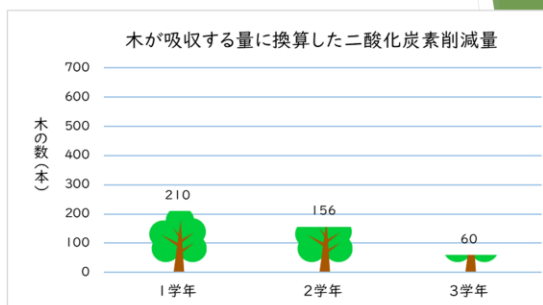
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約70トン、2学年約52トン、3学年約20トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約210本分、2学年約156本分、3学年約60本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

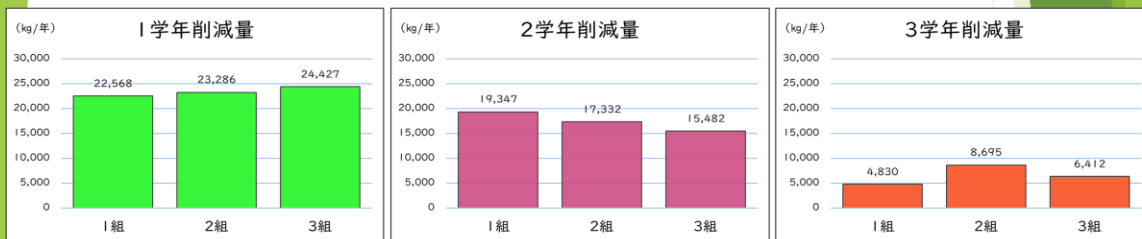
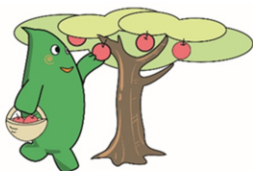


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を持続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-3 渋谷中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 つきみ野中学校

中学校取組結果

つきみ野中学校全体の結果

763人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約510トン削減することになります。これは、約1,523本の木が吸収する量に相当します。

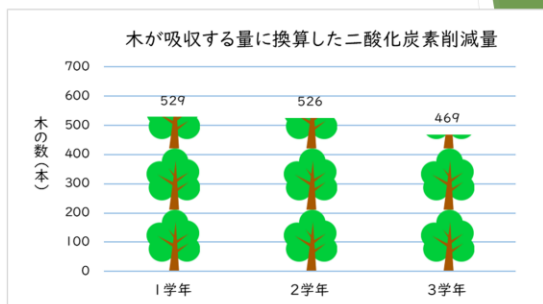
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約177トン、2学年約176トン、3学年約157トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約529本分、2学年約526本分、3学年約469本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

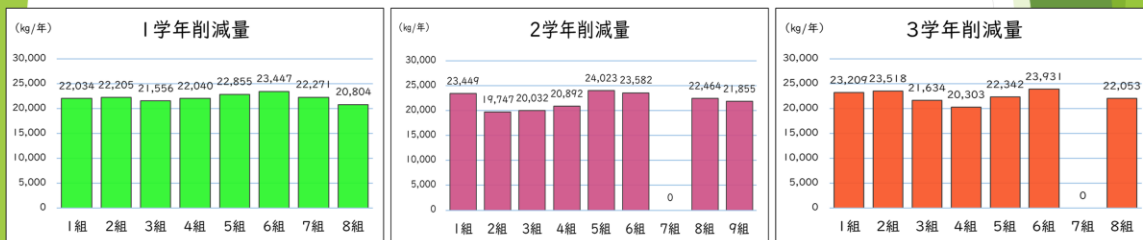
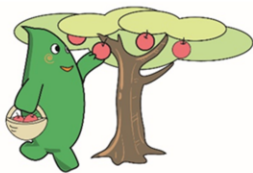


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-4 つきみ野中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 鶴間中学校

中学校取組結果

鶴間中学校全体の結果

371人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約253トン削減することになります。これは、約755本の木が吸収する量に相当します。

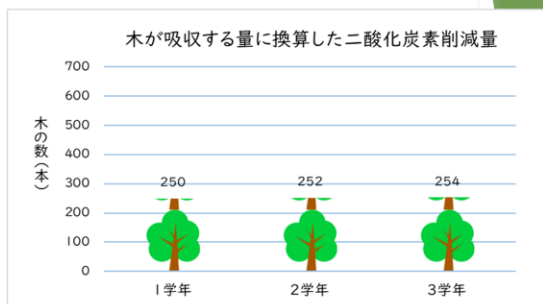
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約84トン、2学年約84トン、3学年約85トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約250本分、2学年約252本分、3学年約254本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

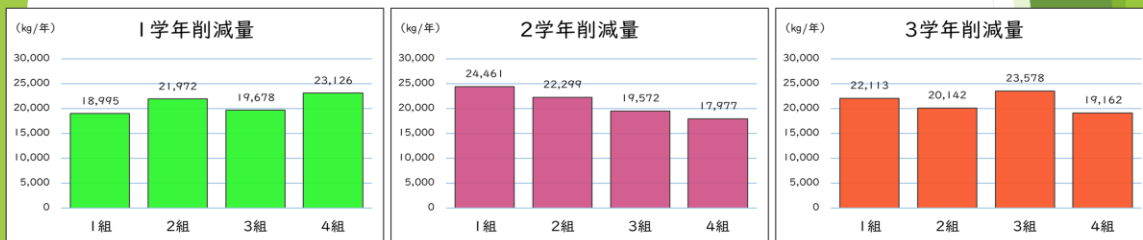
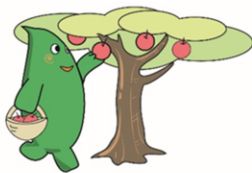


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-5 鶴間中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 引地台中学校

中学校取組結果

引地台中学校全体の結果

139人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約101トン削減することになります。これは、約302本の木が吸収する量に相当します。

各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約10トン、2学年約4トン、3学年約87トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約28本分、2学年約13本分、3学年約260本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

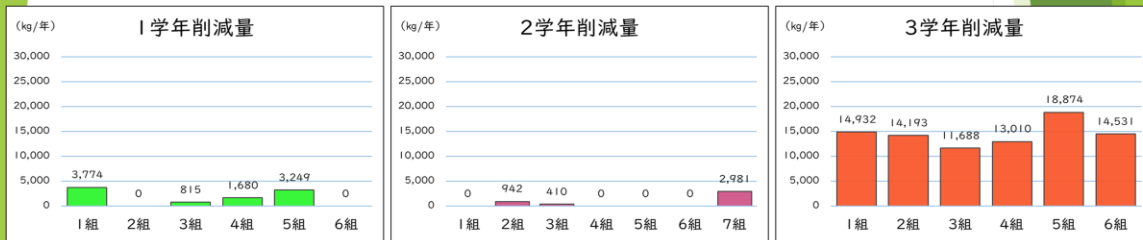
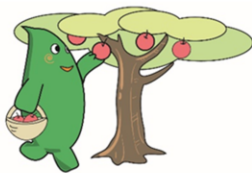


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-6 引地台中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 上和田中学校

中学校取組結果

上和田中学校全体の結果

268人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約185トン削減することになります。これは、約552本の木が吸収する量に相当します。

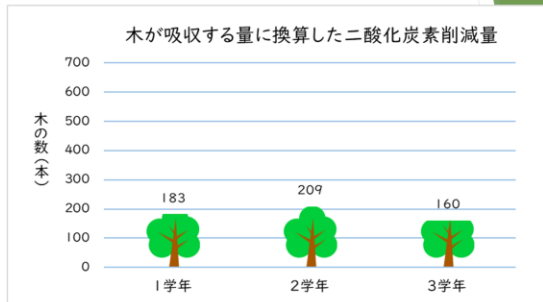
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約61トン、2学年約70トン、3学年約54トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約183本分、2学年約209本分、3学年約160本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

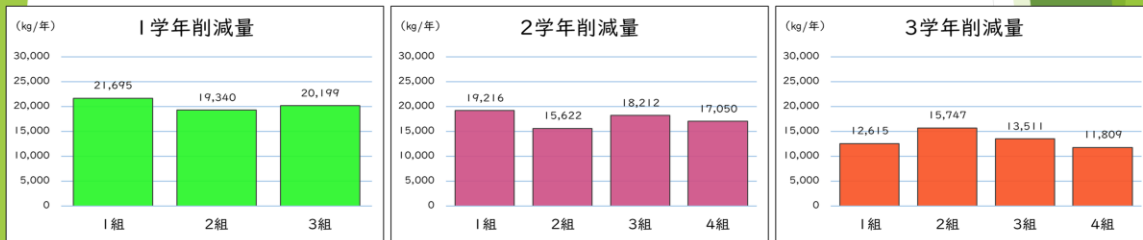
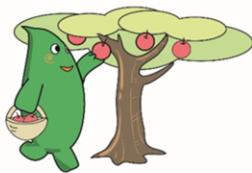


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-7 上和田中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 南林間中学校

中学校取組結果

南林間中学校全体の結果

663人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約472トン削減することになります。これは、約1,410本の木が吸収する量に相当します。

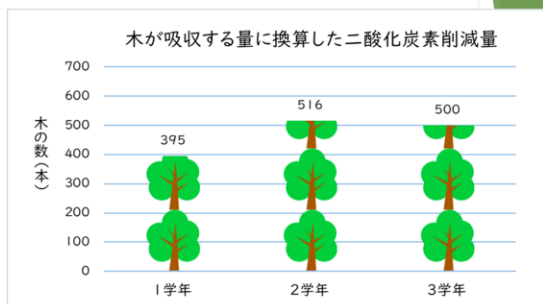
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約132トン、2学年約173トン、3学年約167トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約395本分、2学年約516本分、3学年約500本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

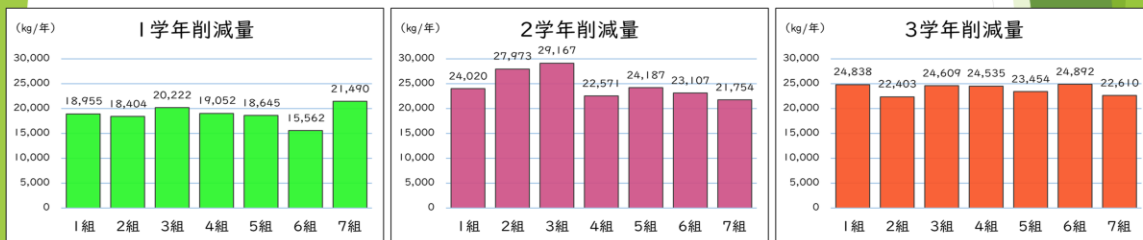
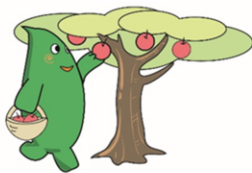


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-8 南林間中学校の取組結果

未来の環境は私たちが守る!

「大和市 かんきょうノート」取組結果 下福田中学校

中学校取組結果

下福田中学校全体の結果

255人が「かんきょうノート」にチャレンジしました。今回の取組みを一年間続けたとすると、皆さんの取組みで、二酸化炭素を約169トン削減することになります。これは、約505本の木が吸収する量に相当します。

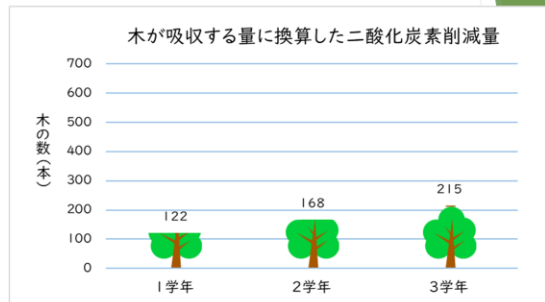
各学年の結果

各学年の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約41トン、2学年約56トン、3学年約72トンでした。

取組み後の二酸化炭素削減量を木が吸収する量に換算すると、1学年約122本分、2学年約168本分、3学年約215本分に相当します。

この結果をグラフに示すと右の図1の通りです。

各クラスの取組み後の削減量は、以下の図2の通りです。



※二酸化炭素削減量は、対策を講じていない場合との比較です。
※直径50cmの木が1年間に吸収する二酸化炭素を335kgとして計算しています。

図1 各学年の取組み後の二酸化炭素削減量

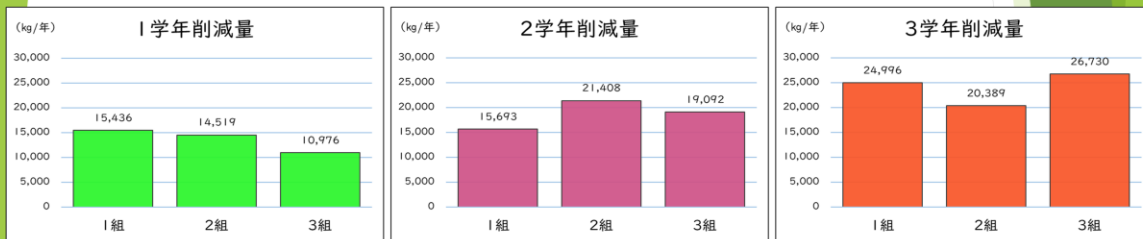
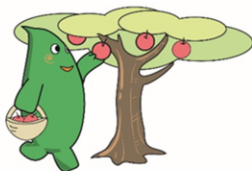


図2 各クラスの取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和4年度は4,104人が取組みました。皆さんの二酸化炭素削減量の合計は、年間2,799トンでした。

この量を木が吸収する量に換算すると、約8,354本になります。



大和市イベントキャラクター ヤマトン

活動を継続し、地球温暖化の影響が少ない未来にしましょう!

世界や身近で起こる気温の上昇や異常気象などをできる限り防ぐには、二酸化炭素を削減していく必要があります。「かんきょうノート」の活動を継続し、活動の輪を広げていきましょう!

これからも、毎日の生活の中で、環境への負担が少ない行動を選ぶ機会を増やし、自分たちの未来を守りましょう!

図3-9 下福田中学校の取組結果

令和4年度 大和市環境学習支援事業報告書

令和4年12月

編集：大和市環境施設農政部
環境総務課地球環境係

〒242-8601

神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号

TEL:046-260-5493

FAX:046-260-6281